



▶ 真庭市の最南端に位置

- ・岡山県の中北部
- ・県南主要都市から約1時間

▶ 旧上房郡北房町

- ・昭和28年に中津井村、砦部町、上水田村、水田村が合併して誕生
- ・平成17年に真庭市となる(9町村)
- ・面積は71.18km²
(真庭市全体は828.53km²)

令和5年9月1日現在

	人口	世帯数
真庭市全体	41,910人	17,538世帯
うち北房地域	4,610人	1,864世帯

北房の高齢化率は約46%

真庭市役所本庁舎





▶ 旧町村単位の5つの地区に分かれる

- ・中津井(なかつい)地区
- ・砦部(あざえ)地区
- ・阿口(あくち)地区
- ・上水田(かみみずた)地区
- ・水田(みずた)地区

▶ 自治の最小単位は「自治会」

- ・北房全域に101の自治会
- 自治会には公会堂などの集会所がある
≒集落のイメージ



自然



▶ 気候

- ・真庭の中では比較的温暖
- ・阿口地区は標高が高く積雪も

▶ 地形・地質

- ・備中川を中心に開けた盆地
- ・石灰岩の地質を持つ（カルシウム豊富）
- ・鍾乳洞が点在、全域にホタルが生息



備中川のホタル



歴史



▶ 古墳時代から栄えた土地

- ・200基以上の古墳が点在
- ・吉備国の有力者が関係していたとされる

▶ 備中国(びっちゅうのくに)

- ・岡山県は備前、備中、美作の3国
その内の備中国として歩んできた
伊勢亀山藩の領地だった時代もあり
中津井に陣屋が置かれた

近代以降は、中津井や砦部、水田などの
商店街を中心に栄えていった。

- ・北房町時代には砦部が中心となる

◀ 大谷1号墳

大正時代の砦部商店街



文化

▶ 年中行事

- ・ 地区ごとに行われるお祭り
- ・ 集落ごとに行われるお祭り
- ・ 北房の伝統行事
北房ぶり市、お大師巡り、雛祭り など



▲ 郡神社の秋祭り(上水田地区)

北房お大師巡り▶



北房ぶり市



正月くらいは贅沢を…
300年以上続く伝統行事





中津井雛の文化祭り

郡神社の火祭り



産業

▶ 産業の基盤は主に農業

- ・稲作が中心
- ・古くは養蚕や葉タバコが盛ん
伊勢亀山藩が奨励した
- ・中津井や砦部には牛市も



▶ 品質のよいぶどう栽培が特徴

- ・昭和後期に衰退した葉タバコに代わる
寒暖差のある気候が栽培に適した
ニューピオーネ、シャインマスカットなど



大嘗祭にも使われた
北房の美味しいお米



備中川の中硬水で醸す
地酒「大正の鶴」



～全国へ発信する～

日本一のホタルの里づくり

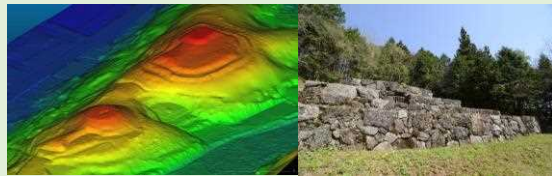


ホタル保護団体や地元商店会、行政が連携して、日本一のホタルの里を目指し地域活性化に取り組む。平成30年6月には、**ほたるサミット**が真庭市で開催された。



～ロマンと郷愁の里～

西の明日香村づくり



古墳が200基以上点在している北房。市民と大学、市が連携し「荒木山古墳」のレーダー調査等を実施。令和4年度、5年度には市民団体が中心となった**発掘調査**を実施。歴史遺産をいかした「いにしえ体験講座」も好評。

～農山村の生き方、働き方を学ぶ～

真庭なりわい塾



中和地区に続き、令和3年度から北房地域でもスタート。塾生が北房の暮らしや営みを聞き書きなどを通じて学び、自らの**生き方をかたち**にしていこう。

～豊かな自然の活用～

阿口地域の振興

阿口地区の紅葉公園や四季彩湖など自然に囲まれたエリア活用し、**アウトドアアクティビティ**を楽しむ。



～山から海へ、海から山へ～

里山と里海の交流



北房のホタルや真庭の自然を活かした体験教育プログラムを実施。森里川海の連環を通じて、里海の住民とつながり、自然や資源の大切さを双方で共有する新たな取組を進める。

●農産物作付面積等の推移

(単位:ha;頭)

区分 \ 年度	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
米	679.1	673.4	649.6	571.0	516.0	480.0	460.2	423.0	416.1	344.0
麦	546.7	468.6	331.9	156.5	43.0	13.8	7.0	1.3	—	—
大豆	×	81.2	37.0	28.5	26.0	28.0	30.0	32.0	20.0	40.0
小豆	×	17.3	16.9	12.0	16.0	19.0	20.0	47.0	15.0	10.0
たばこ	×	57.8	109.3	103.1	52.4	53.3	46.7	21.8	8.7	2.3
いぐさ	×	3.3	21.9	42.0	35.0	27.0	4.5	2.1	—	—
きゅうり	×	1.7	6.3	16.5	8.5	13.8	14.0	4.3	2.0	2.0
ピーナツ	—	—	—	—	—	—	—	8.5	12.0	15.0
アスパラガス	—	—	—	—	—	—	—	—	3.5	3.0
春菊	—	—	—	—	—	—	—	1.0	0.3	1.0
乳牛	52	258	285	441	499	500	490	637	380	430
肉用牛	1,276	1,179	637	941	700	750	660	628	336	120
豚	49	110	1,250	1,011	5,500	4,500	3,820	2,920	2,291	700
鶏	14,480	20,556	17,250	20,300	×	25,000	30,000	24,000	—	—

ゆたかな町に 特性を生かした農林業

北房町は、兼業も含め75%の世帯が水稲を中心に酪農、イ草、たばこ、養蚕などにはげんでいますが、年々農業は厳しくなり、生産性の向上が課題になっています。このため、現在、ほ場や農道の整備、畑地に多種目の作物を栽培したり、水田の補給水を確保するため、北房ダムを建設、現在、導水管を埋設中です。



▲整備された水田



▲整備が進むほ場



▲イ草



▲茶



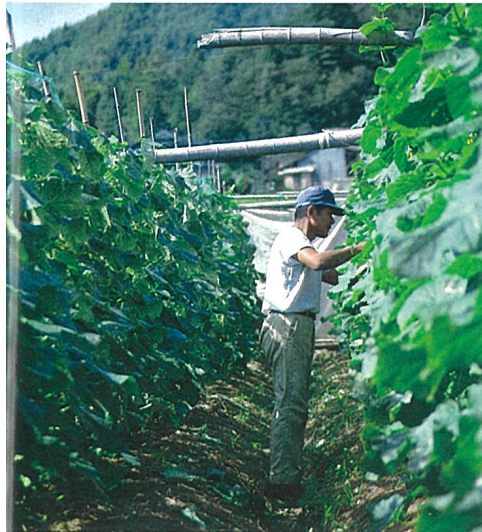
▲しいたけ



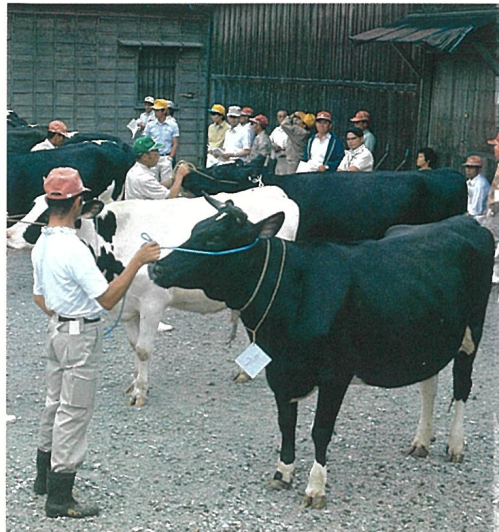
▲酪農



▲たばこ



▲夏秋キュウリ



▲畜産共進会



▲かんがいダム